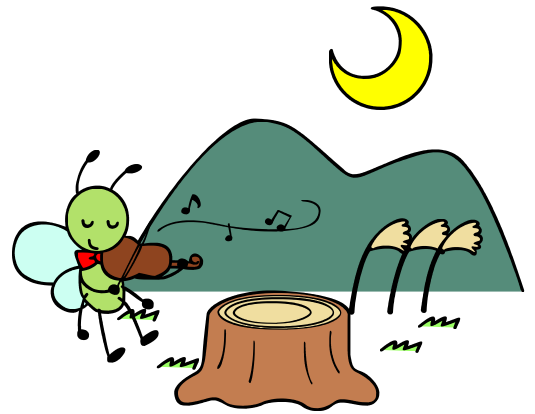


「深まる秋～思索する秋～ 学問する秋」



お彼岸を過ぎてすっかり秋らしくなってきました。昨年は確か台風が過ぎ去ったかと思っただけなのに木枯らしの季節となり、年々春や秋など季節の移ろいを感じさせる時期が短くなってきているように思われます。今年は秋という季節を少しでも長く感じていたいものです。

さて定期試験が終わりましたが、どんな反省がありますか。テストが終わったから自由に時間を使えるなどと開放感に浸りきっている人は要注意です！ そんな人はいないことを願っていますが、持てる力を伸ばそうとしないもったいない人が実に多い！と感じています。テストのある無しに関係なく自分の時間をコントロールできる人は、受験直前になっても慌てずに実力を積み重ねていきます。皆さんにはぜひ土壇場で焦るのではなく、現在の自分の力をしっかり見極め、さらに高みを目指して行ってほしいと強く願っています。

テスト後もスマートフォンから少し離れてみることもいいのではないのでしょうか。そして秋の野の虫たちの演奏に耳を傾け、もの思いにふけるのもいいものですよ。古文的には「ぼんやりともの思いに沈む」＝「眺む」 眺むる時を楽しみましょう。

【10月の予定】

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	木	第2回定期試験(第4日)	18	日	
2	金	A 後期開始 安全点検	19	月	B
3	土	土曜講座	20	火	B
4	日		21	水	B 歯科検診(2-5・2-6)
5	月	B きずなの日 教育実習開始 自転車ステッカー一点検週間	22	木	B
6	火	B 生徒協議会	23	金	B
7	水	B	24	土	
8	木	B 修学旅行保護者説明会 (18:30～ 県立文学館講堂)	25	日	
9	金	B	26	月	A
10	土	土曜講座	27	火	A
11	日		28	水	A 歯科検診(2-1～2-4)
12	月	A きずなの日	29	木	A
13	火	A 眼科検診(抽出)	30	金	A 進研学力テスト 第2回PTA理事会 進研学力テスト
14	水	A	31	土	
15	木	A	1	日	
16	金	A	2	月	B 冬服期間(~4/30) 第2回生活実態調査 冬季原付免許取得説明会
17	土				

保護者のみなさまへ

先日はお忙しい中、修学旅行に関するアンケートへの御協力ありがとうございました。アンケート結果をもとに、2年次 PTA 役員の方々と相談させていただき、10月8日(木)に保護者対象の説明会を実施することになりました。9/30付で御案内を出しましたので、御覧の上御参加のほどよろしく願いいたします。

今月末には進研学力テストが実施されます。刻々と変化する社会状況の中、高校2年生が自分の進路を考えるというのはなかなか難しいことと思います。明確な進路目標が定まらずに、勉強のモチベーションが上がらないという生徒も少なからずいます。御家庭でもぜひ引き続き進路についてのお話をしていただけるとありがたいです。何か質問等がございましたら気軽にお問い合わせください。よろしく願いいたします。

今月から2年次の副担任の先生に、皆さんへ向けてのメッセージを寄稿してもらいます。人生の先輩である先生方のさまざまな声に耳を傾けてみましょう。

なりたい自分、より成長した自分になるために

1組 副担任 田邊 優樹

皆さんは何か難しい選択をするときや困ったことがあるとき、何を思い出し、何を基準にその選択をしますか？私はある友人の言葉を思い出します。「自分を成長させてくれる環境に身を置け。」という言葉です。これは、山梨県出身のウェイトリフティング選手である笠井武広選手の言葉です。彼とは小学生の頃から仲が良く、ともに日川高校に通った間柄です。全日本選手権で4度の優勝に輝くなど日本を代表する選手ですが、尊敬できるのは、その輝かしい功績ではありません。考え方も一流で、同級生ながらそういう彼を心から尊敬しています。

笠井選手は大学時代から時間を見つけては、いろいろな人に会っていました。その相手は、スポーツ選手や知人など自分に近い人に限らず、ある企業の社長であったり、一方誰もが驚くような功績や肩書のない人であったりと、実にさまざまな分野の方々でした。彼は学生業だけでも忙しく、それに加え世界のトップクラスで戦うための厳しい練習やトレーニングを日々行っていました。ただでさえ時間に余裕がない彼が、なぜそこまでするのか気になり尋ねてみました。彼はこう答えました。「練習やトレーニングを頑張るのは当たり前。その結果どれだけ功績を残しても、このまま引退すれば僕には何も残らない。だからこそ、今のうちから自分が尊敬できる人達の話聞き、自分を成長させておくことが大切なのだ。何か選択を迫られた時、より成長できる方、なりたい自分になれる方を選ぶようにしている。」私は啞然としながらも、何か納得していました。今思えば、笠井選手は小さい頃から、どれだけ厳しい練習をしようとも弱音を吐くことはなく、むしろさらに自分を追い込む人でした。

この日から私は選択に迫られたら、自分がより成長できる、なりたい自分になれる方を選ぶことにしています。(そうは言ってみても、自分に甘い私は、楽な方に流されるのですが...) 皆さんも、ちょうど卒業後の進路という人生の岐路に立ち、迷い悩む時期だと思います。模試の判定や定期試験の順位、合格した大学の偏差値など、自分の学習成績で自分を評価しがちですが、なりたい自分やより成長した自分を手にできる進路は何か考えてみるのも悪くないかもしれません。進路という人生の大きな選択だけでなく、日々の学習においても、笠井選手のように考えられると良いのかもしれないね。